

# 変えよう。共に生きる社会へ。

多様性が承認され、自由・人権が尊重される社会へ——今こそ政権交代を！

街頭遊説に立つ、東京・生活者ネットワーク都議の岩永やす代と大河原まさこ衆議院議員。立川駅で



東京・生活者ネット主催のPFAS問題集会(2024年7月27日)で、大河原まさこ衆議院議員を囲む参加者。大河原さんは、2021年3月、脳出血を患い、中途障がい者となった。以後、障がい当事者の立場から公共サービスの充実を政策として訴えている



自公政権のもと、政治の劣化が止まりません。自民党と統一教会の癒着、派閥の裏金づくりに現われる政治とカネの問題、ロシアによるウクライナ侵略を背景に始まったエネルギー危機を理由に、原発再稼働・新增設を表明したばかりか、憲法・平和主義を踏みにじる安保関連三文書改訂、敵基地攻撃能力の保有へと進め、防衛費を5年間で現行計画の1.6倍増、戦闘継続能力を強化するとしています。

一方で、市民の生活は貧困や格差、孤立が深刻の度を増しており、働く現場では非正規雇用が常態化、男女間・若者との間での賃金格差は是正されないまま、物価高騰と相俟って命と暮らしの安心を脅かしています。

生活者ネットワークは、「政治は市民の生活課題を解決するための道具」と考え、活動してきました。大河原まさこさんは、生活者ネットワークの都議会議員時代をスタートラインにおく市民政治のパイオニア、私たちの仲間です。「命と暮らしの安心」を基本に、多様な人々が「共に生きる社会」をつくりたいとの、大河原さんの思いは今も変わりません。

石破新総理が誕生しましたが、自民党政権の下では、私たちの暮らしは変わりません。生活者ネットワークは、多様性が承認され、自由・人権が尊重される社会、持続可能な暮らしの豊かさを実感できる政治の実現をめざし、おおぜいの市民とともに積極的に国政選挙に取り組みます。

ともに、政権交代をめざしましょう。

●生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議39人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」「国政問題」には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

国立市・国分寺市 立川市



岩永やす代  
東京・生活者ネットワーク都議会議員

日野市



あべみさ  
前・生活者ネットワーク市議会議員

八王子市



白井なおこ  
日野・生活者ネットワーク市議会議員

八王子市



玉正さやか  
八王子・生活者ネットワーク市議会議員

玉正さやか  
八王子・生活者ネットワーク市議会議員

東京・生活者ネットワーク

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4-5階 TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274  
E-Mail [tokyo@seikatsusha.net](mailto:tokyo@seikatsusha.net) ホームページ <https://www.seikatsusha.me>

